

わたしの「まちづくり提案」

～皆様から届いた声～

今年度7月末までにお寄せいただいた提案の一部を要約してご紹介いたします。

○「学校版環境ISO」事業に

取り組んでいる記事を読み、とてもいい事だと思いました。

二番煎じではありますが、是非良い事はマネすべきだと思います。

また、子どもたちの大切な学校給食が材料費高騰のあおりを受け、値上げをしたり、給食の回数を減らすなどの影響を受けています。

この記事も載っていたのですが、農家の方々も商品にはならない形の悪いものや、とれすぎた物など、どんどん地域の学校給食に寄附して頂き、学校はその方たちへのお礼に子供達との交流の機会を作れば、お互いにプラスになる事と思います!!

(油井 匿名)

○現在、私には3人の子どもがいます。今のところ「乳幼児医療：」のおかげで医療費は免除になっていますが、その制度も小学校に入る前で終わってしまいます。病気以外

にも大きくなればケガも増えてくると思います。3・4人と子供がいる家庭には、出費は痛い所があります。

医療の補助を延長できないでしょうか？

子は宝です。子どもが欲しくても、金銭的にあきらめている人が沢山います。少子化が進むとあらゆる面で困ることが多いと思います。

(伊佐沼町 匿名)

○行事や催し事など、とくに印象つけるのに何々の日があります。家庭の日、家族の日という日が聞こえないのですが、二本松市ではいかがなものでしょうか。

今の時点で空白であれば、条例等のきまりをもうけ皆で喜んであげたいと思います。

幼児教育、子育て環境も先頭にたつのは家庭であり、家族であって、親しみが生まれると思います。決して無駄ではないと思います。

(杉沢 深井さん)

市からの返信

内閣府では、11月の第3日曜日を「家族の日」、その前後各1週間を「家族の週間」と定めております。

○携帯電話で仕事をする様になって14年になります。

当時からつながりにくく何度も頼みましたが、今だに改善されません。携帯が通じないなんて格差のある生活です。せめて、携帯ぐらいは通じる様にして欲しいものです。

(東新殿 三浦さん)

市からの返信

市では、これまでも携帯電話事業者に不通話エリア改善の要望を行っているところであります。今後とも引き続き事業者に働きかけを続けて参ります。

貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。

※(一)内は、提案いただいた皆様の意向により、ご紹介させていただきます。

新しい晨

市長からの手紙

三保恵一

スポーツを通して世界各地の精鋭と競い合い友好を深めた平和とスポーツの祭典、北京オリンピックが閉幕しました。二本松市初のオリンピック選手、久野綾香さんを始め、その活躍に一喜一憂し、歓喜を味わい、スポーツの素晴らしさを実感したオリンピックでした。

日本代表として久野綾香さんが出場したカヌー女子カヤックフォア500mで、日本は初の6位入賞を果たし、多くの皆さんに夢と感動を与えました。

8月28日、早速久野綾香さんが市役所を訪れ、入賞の報告をしてくれました。

二本松市民を代表して、心からお祝い申し上げますと共に、これまでの努力の積み重ねに敬意を表しました。久野綾香さんから「地元の人たちの応援がとても力に

なりました」と感謝の言葉と「自分の力を出し切れたと思うが、メダルを取れなかったのはとても悔しい。4年後にはメダルを取れるように今後も練習に励むので、応援をお願い致します。」と決意を話してくれました。

世界を相手に戦いを挑んだ久野綾香さんのパフォーマンス。自分の力を出し切った結果は、人々を魅了し、社会に希望と活力を与え、子どもたちにスポーツの魅力を伝えたものと確信しております。

ロンドンを目指す久野綾香さんの今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

さらにこの度、安達高校のカヌー部と山岳部が全国高校総合体育大会で優勝いたしました。これまでの厳しい練習を積み重ねて栄える栄冠を手にしたこと、その栄光を讃え、心からお祝い申し上げます。

スポーツを通じて、人類が共に栄え、文化を高め、世界平和の火を永遠に灯し続けること。人々にスポーツへの参加を勧め、健康で心豊かに暮らせる二本松市を実現させるために。